

離床センサー 現場レポート！

VOL. 38
Jul.2012

「離床センサーをお使いの現場から、様々な工夫をご紹介します！」

コールマットとタッチコールを居室内の出入口とトイレ横に設置し、
トイレ介助と外出・帰室介助に役立てて下さる兵庫県P様の事例を紹介します！

兵庫県・P様

ご使用機種：コールマット・ハイパー（HCH-20）+タッチコール・ハイパー（TCH-20）

課題

つかまり立ち・伝い歩きがなんとか可能な入居者が居室内トイレに単独で行く時に転倒する心配がある。また、居室から1人で外出する時も転倒が心配。トイレに行く時と、居室から外出する時を個別に知り、介助したい。以前、床敷きタイプのセンサーを使用した事があるが、センサーを気にして触ってしまうため、使用出来なかった。



対策

トイレに行こうとしてトイレ横の手すりを握ると報知するようにタッチコール・ハイパーを設置。

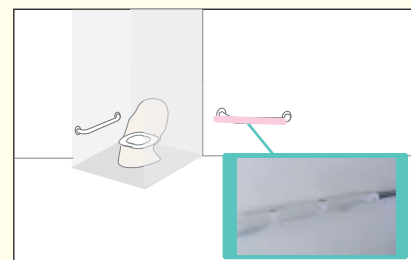
【チャンネル設定①】

部屋から出ようとする時と報知するように居室出入口にコールマット・ハイパーを設置。

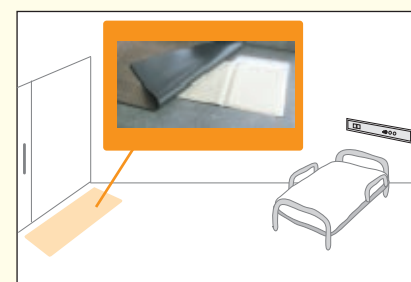
さらに上から玄関マットを敷いて目立たなくした。

【チャンネル設定②】

タッチコールを
手すりに設置



コールマットを
出入口に設置



効果

入居者のトイレ行動と外出行動が個別に報知され、行動の識別が可能になった。

その結果、適切なタイミングで訪室し、トイレ終了・帰室まで安全に介助し、転倒事故を防止する事ができるようになった。

チャンネル①
で報知



チャンネル②
で報知

